



～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

大型連休、お受け入れします。

例年のこととなりますが、地域包括ケア病棟“彩り”では、通常の受け入れに加え、ゴールデンウィークや年末年始など、一時的に在宅医療の継続が困難な患者さんの受け入れを積極的に行っています。お気軽にご連絡ください。

2月22日（土）

23日（日）天皇誕生日

24日（月）振替休日

3連休



秋祭りの様子



昼食前の集団体操

3月20日（金）春分の日

21日（土）

22日（日）

3連休



秋祭りの様子

4月25日（土）

26日（日）

29日（水）昭和の日



嚥下内視鏡検査の様子

5月 2日（土）

3日（日）憲法記念日

4日（月）みどりの日

5日（火）こどもの日

6日（水）振替休日

5連休

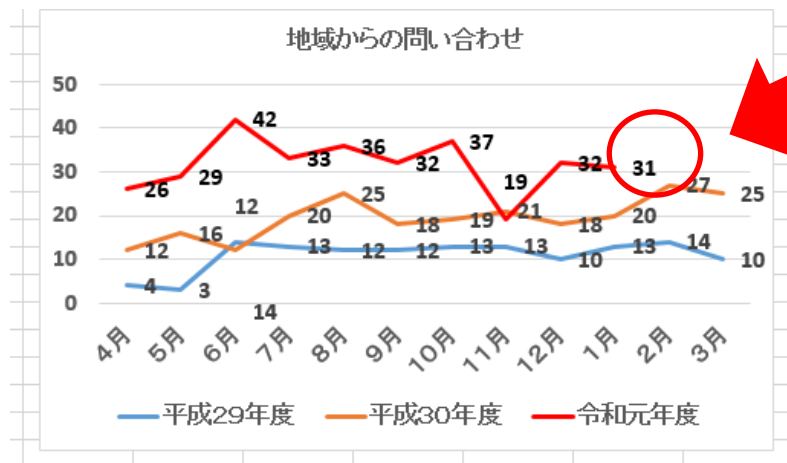


ご活動頂いている傾聴ボランティアの方

令和2年1月の問い合わせ状況の報告

下図は、先月1月における地域の皆様からの問い合わせ状況の報告です。引き続き、地域の皆様からのご要望にお応えできるよう、迅速に対応してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（地域医療連携室 室長 南出 弦）



老健やましろより

～ 「ふれあい広場」を開催しました ～



老健やましろでは、地域のみなさまに老健をもっと身近に感じ、広くご利用していただけるよう、2月6日（木）に『老健やましろ ふれあい広場』を開催しました。近年、介護の分野では栄養や摂食嚥下、口腔ケア等が重視されていることから、今回は『食事が食べづらくなってきたら ～ 嚥下機能と食形態～』というテーマでの実施となりました。

前半は、岩本施設長からのあいさつの後、当施設の言語聴覚士からの摂食嚥下機能や食事の際の観察ポイント、正しい食事姿勢等の講義、続いて管理栄養士からいろいろな食事形態や嚥下しにくい食品を食べやすくする工夫等の講義がありました。この中で、『①とろみをつける時は片栗粉を使用せず、とろみ剤を使用すること ②ゼリー状に固めるときは寒天ではなく専用のゲル化剤を使用すること』の2つが重要であるとの話がありました。①は、片栗粉はでんぷんが唾液で分解されサラサラの水分となりムせてしまう ②は、寒天は口腔内でバラバラになり、誤嚥しやすい とのこと、一見同じように見えてもかえって危険であるとのことでした。



後半では、実際にとろみのついたお茶やお茶ゼリーの飲み比べや、嚥下食の試食をしていただきました。参加した方からは、実際に試食をしていただく中でソフト食のやわらかさに驚かれたり、「飲み込みづらい時にヨーグルトを使っているがお茶ゼリーの方が喉にスッと入りやすい」「介護現場で吸い飲みを使っているがスプーンを使用したほうが良いのか」等、感想や質問も多く出ていました。

これからも様々なテーマを取り上げ、地域の皆様とふれあえる場を持ちたいと思います。

（老健やましろ 管理部長 三村 裕子）

地域医療連携室より

～ 十分納得された上での結論 ～

先日、以前関わりのあった患者さんとその娘さんが、当院での外来診察終了後、地域医療連携室においで下さいました。今回おいで下さったのは、昨秋、奥様を亡くされて以降、自宅での生活が立ち行かなくなり、今春を目途に娘さんが住む京都市内の有料老人ホームに入居予定であるとの報告でした。娘さんをご両親想いの方でしたので、ご両親を住み慣れた木津川市の自宅で最期まで住まわせてあげたいという気持ちを持たれていたことは容易に想像がつきます。ですので、今回のお父様の有料老人ホームへの入居という決断は苦渋の選択だったのではないのでしょうか。お父様は娘さんの横で大きく頷かれ、娘さんと私の話を聞き入っておられていましたので、きっとお父様自身も十分納得された上での結論だったのだらうと思います。もう、患者さんと娘さんにお会いする機会はないかもしれません。地域医療連携室に足を運んで下さったことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

問い合わせ先

0774-73-1818（担当：中野・中嶋・松田）